

壹

そもそも神社って、どんな場所？

初詣の前に  
知っておきたい

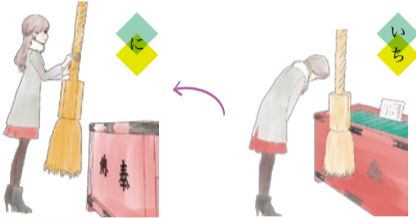
# 地元神社の はなし



神社の起源は、縄文時代にまで遡ると言われている。集落に恵みを与え、時には猛威をふるった自然の力。それらの自然に畏敬の念を抱いた人々は、次第に自然や動植物に神が宿っていると考えるようになった。そして、神が宿るものとして山や木、岩などを祀って神様に感謝や祈りを捧げるおまつりを執り行い、信仰心を深めていった。そのおまつりをする場所に社が建つようになってきたことが、神社のはじまりと言われている。つまり、神社とは神が宿る神域であり、その神域を守っていくことで人々が結束を強めた場所でもある。

神社には、自分が生まれた育った場所や現在暮らしている地域に鎮座する「氏神社」と、地縁・血縁的な関係以外で個人の特別な信仰などにより崇敬する「崇敬神社（すうけいじんじや）」がある。もちろん、氏神社と崇敬神社の両方を信仰することに問題はない。しかし、最近ではパワースポットブームなどの影響もあり、崇敬神社を参拝する人は増えているものの、氏神社の存在を知らない人も多いそう。そんな今だからこそ、地元に住つ神社の歴史、地域を守る神様について学んでみよう。

本殿での参拝作法



● 鈴を鳴らす  
鈴は、昔から神霊を招く道具といわれている。大きな音を出そうと無理をせず、丁寧に鳴らすように

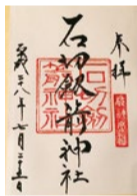
● 神前で姿勢を正し、一礼  
帽子は外すなど、参拝の際は身なりも整えよう。賽銭の「賽」は神様へのお礼を意味するので、基本的には投げないが、マナー。額も決まりはないが、「ご縁」をいただけるようにと5円玉や50円玉を入れる人が多いそう



● 再度姿勢を正し  
「二拝二拍手一拝」で参拝を二礼二拍手一礼の作法  
【1】90度の礼を二回（二拝）  
【2】胸の前で二拍手を叩く（二拍手。拍手「はくしゅ」は「かしわで」とも言い、邪気を祓う拝礼作法）  
【3】最後に90度の礼を一回（一拝）

御朱印帳の楽しみ方

最近、ブームにもなっている御朱印。元々はお経を寺院に納め、その証拠にいただくものだったが、江戸時代ごろから神社でも出されるようになったといわれている。御朱印は、花や植物の社紋や動物をかたどった印など、それぞれの神社の由緒や伝説を表現している。スタンプラリーではないので、お礼やお守りと同じように扱うこと。



取材協力 神社本庁  
<http://www.jintachou.or.jp>

貳

正しい参拝のイロハ

神社は、神様が宿る場所。マナーを守って、正しく参拝しよう。神社で最初に目にする「鳥居」は、神域への入り口。一礼してからくぐり参道へ。参道の中央は、「正中（せいちゆう）」と呼ばれる神様の通り道、参拝者は端を歩くように。また、参道脇にある「手水舎（てみずしや）」で手と口を清めることを

忘れずに。（祓社（はらいのやしろ）がある神社であれば、まずはここを参拝して心身を清める）奥には、祭神が祀られている「本殿」がある。ただし、神様が宿る岩や木などの「依り代」を御神体とする神社には、本殿がない場合も。その場合は、「拝殿」で参拝を。また、境内には本殿の他にも、摂社・末社と

呼ばれる社があり、祭神と関わりの深い神様や、その土地に縁のある神様が祀られている。

誰もが訪れたことはあるものの、神社のことを知る機会意外と少ないと思います。年末年始のこの時期、自分の訪れる神社の起源や歴史を知っておけば、楽しみが増えるかもしれません。

気になる

## 北摂エリアの神社

それぞれの神社の起源や歴史をご紹介します。

かつて後鳥羽天皇が造営した別荘地「水無瀬離宮」があった場所として知られており、後鳥羽天皇とその皇子である土御門天皇（ちみかどんのう）順徳天皇の3柱を祀る名社。承久3（1221）年の承久の変で隠岐に配流され、崩御した後鳥羽天皇の遺言状に基づき、仁治元年（1240）離宮の管理者だった水無瀬信成・親成（ちかなり）親子が跡地に「水無瀬御影堂」を建て、天皇を祀ったのがはじまりといわれている。その後、明治時代に皇子の土御門天皇、順徳天皇を祀り、昭和に入り現社名に改称。後鳥羽天皇は文武両道で多芸に秀でていたことから、学問・スポーツに御利益があるといわれ、また安産や盗難除けの神としても親しまれている。境内では桃山時代末期の建築とされる客殿、要予約で茶会の見学もできる燈心亭（とうしんてい）と呼ばれる茶室が国の重要文化財に指定。2016年8月には本殿や幣殿、拝殿など5カ所が登録有形文化財に指定され、建築物としても見どころが多い。また、水無瀬離宮にちなんで名付けられた水無瀬川の伏流水「離宮の水（りきゅうのみぎ）」は、昭和60年に大阪府下で唯一、環境庁認定の「名水百選」に選定されたことでも有名。境内に水くみ場があり、名水を求めて多くの参拝者で賑わう。



三島郡島本町広瀬3-10-24  
6時～17時（授与所）  
1月1日、2日は～20時  
参拝は自由  
P約50台有り

☎075-961-0078

1. 拝殿は代表的な昭和神社建築。中に藤原信実が描いた国宝・後鳥羽天皇像の複製が飾られる
2. 神様に供える神聖な水だったという「離宮の水」。茶席の茶の湯としても利用される
3. 桃山時代末期に建てられた重要文化財の客殿。豊臣秀吉の命で造営、寄進されたと伝わる。
4. 薬医門造の門には、奉納されていた名刀を盗もうとした石川五右衛門の手形が残る

## 水無瀬神宮

（ミナセジングウ）

